



巫女

はめ



本編

31P



原作:上海アリス幻楽団





むかしむかし まだ人と妖(あやかし)の境があいまいだったころのお話——
遠い東の果て 深い山々と濃い霧に包まれた場所に、「幻想郷(げんそうきょう)」
と呼ばれる不思議な地がありました。

そこは外の世界では忘れられてしまったものたちが流れ着く場所。

この地では 時おり 異変 と呼ばれる不思議な出来事が起こります。

空が紅く染まったり 春が来なかったり、

夜が終わらなくなったりと 常識では考えられぬことばかり。

ある雨の夜 ひとりの人間が あっけなく命を落としました。

理由は単純 ほんの一瞬の不運とほんの少しの油断。

静かに 世界からこぼれ落ちたのです。

……けれど それで終わりではありませんでした。

気がつけば 彼は 見知らぬ森の中 密かにたたすむ神社の敷地に立っていました。

濃い霧 湿った土の匂い どこか懐かしくて それでいて 異様な静けさ。

自分の体に触れた瞬間 違和感が走ります。

鼓動はなく 体温もない。

それでも確かに 存在している という 奇妙な実感だけがありました。

——人ではない。



「ねえなんでこんな所に妖怪がいるの？」

赤と白の装束に身を包みどこか気だるげでけれど鋭い目をした少女。
彼女は少しだけこちらを見つめるとため息をひとつ。

「……あんた 弱すぎ 放っておいたらすぐ消えるわね」

そう言ってまるで落とし物でも拾うかのように 軽く手を差し伸べました。
気がつけばそこは神社の縁側。

差し出されたお茶からは湯気が立ちのぼり 遠くでは風鈴が鳴っています。

「しばらくここにいなさい 変なことしなければ 祓わないから」

それは救いなのか ただの気まぐれなのか。

けれど行き場のない存在にとってそれは十分すぎるほどの「居場所」でした。
こうして――

死んで妖怪になった名もなき存在と、

ぐうたらで でもどこか放っておけない巫女の 奇妙な同棲生活が始まります。



霊夢さん
この皿ってどこに
しまうんやつけ？

えーつとね
右下の開戸

了解

寒いからさ、
今日中に囲炉裏持ってきて
よね

え、あの物置の？

あれめっちゃ重たいから
それだけ
手伝ってくれませんか？

無理、
今日は休日よ

今日多分火曜日
やけど...

なら祝日
ってやつね

後で肩揉むからさ
一人じゃどうやっても
運べないっす...

はあもう
居候のくせに
使えないわね

晩御飯も
豪華にしてよ

飯は任せて
くださいや

うっわ
さっむ…

俺がこつちの世界に
迷い込んでから
1ヶ月が経った

交通事故で死んで、
幻想郷に迷い込んだ
俺は、
妖怪として第二の
人生を歩んでいる

この天使みたいな
美少女巫女に
拾われて
なぜか居候させて
もらっている

だが問題は…

記憶
戻らないな

よっと

まだ言ってるし
アンタは私を
楽させる事に

全力を注げば
良いのよ

いや、
飛べるなら二人
で持てるやん…

服が汚れるじゃない
ほら、早くそっち
もちなさ…

グッ

ガ
ン
ッ











へえ
結構うまいじゃない

て、ちよつ

ちよつと待って

止めてッ♡

まっ、
一旦ストップ

おっ♡
おっ♡

ゼク

ゼク







美少女に
シゴかれて、興奮
してる？

いいわよ、
イって

イッファ

は
♡

オス臭っさ♡

けぷっ









ドン

んおっ♡

んおっ♡

ドン

ドン

はっ

♡♡

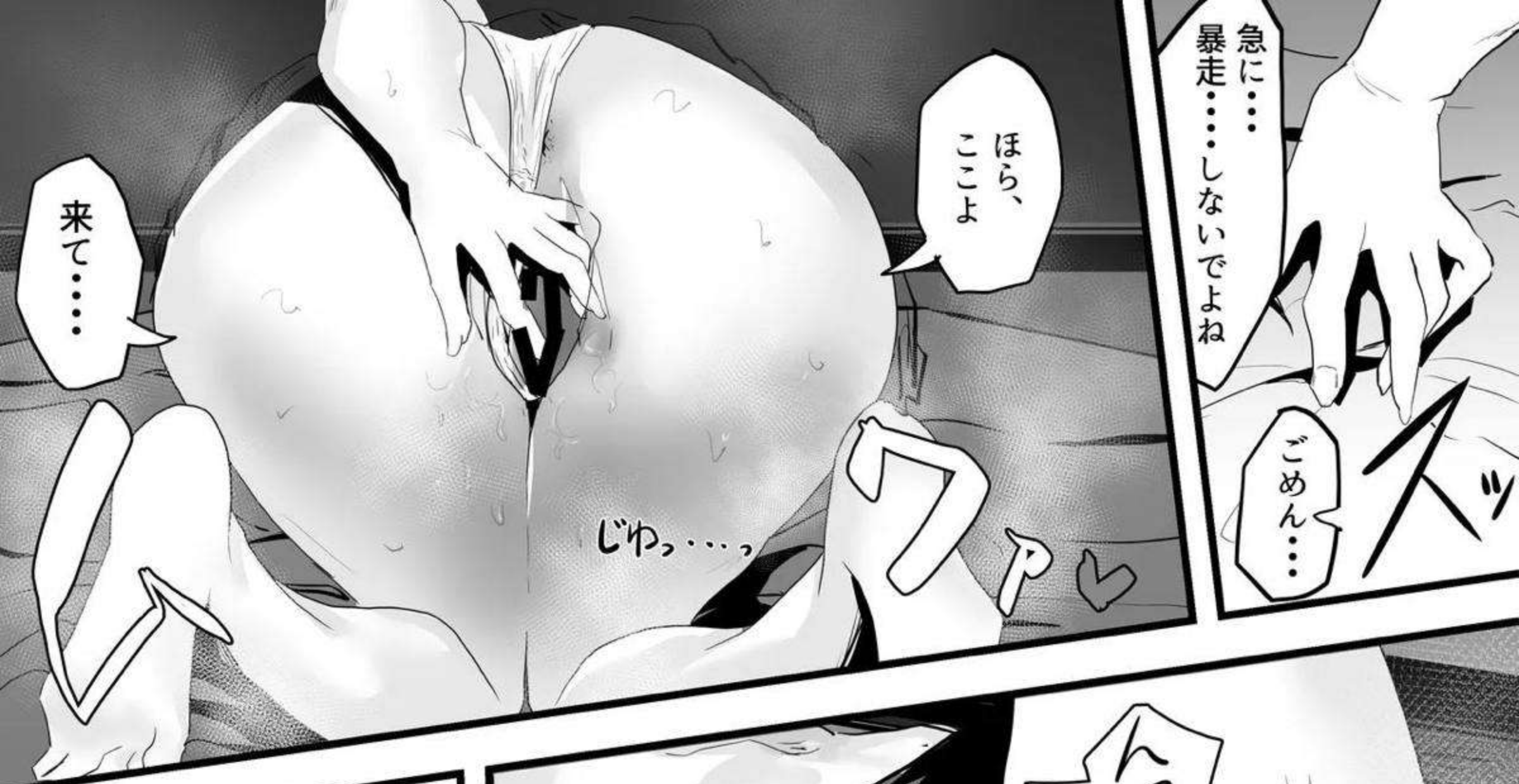
は

♡

じゅ

んおっ♡

はっ



来て……

ほら、
ここよ

じゅっ……

急に……
暴走……しないよね

ごめん……



んっ♡
ばちゅ♡
ばちゅ♡

ばちゅ♡
ばちゅ♡

あっ♡

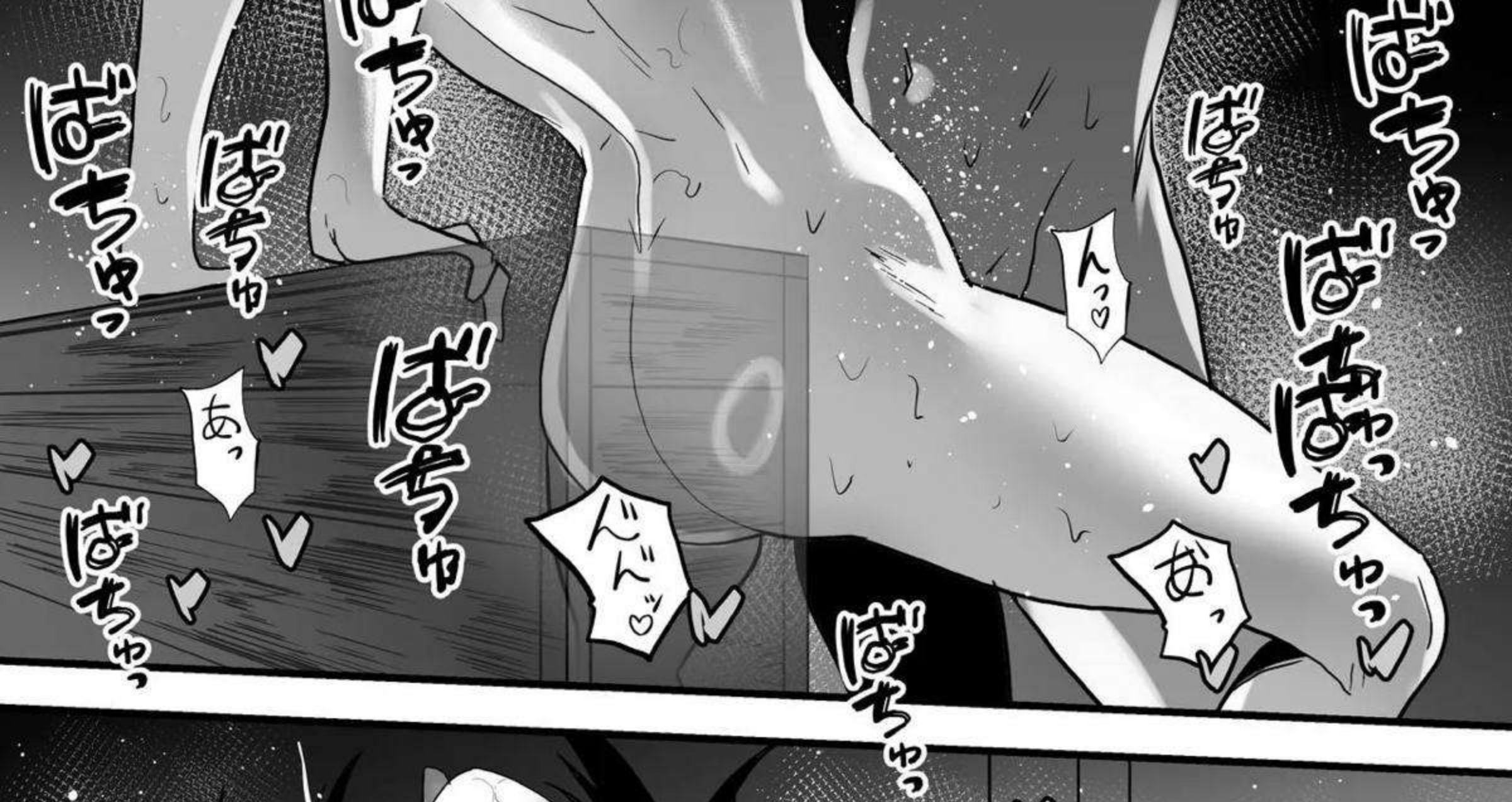
あああ♡



ん♡

にゅるるる♡







イツ...イクっ

イツ...イクっ

おおおッ...ぐッ

イクッ

んおおおッ

アロオオ







早く帰ってきたら...
ご褒美、
あげてもいいわよ?

ワッ

すっわあ...

ビロッ♡

わっかりました...

クッ

グッ

あらあら、

なんだか

面白い事に
なってるわね♡

フス
フス
フス

あとがき

どうも、エンミですっ、日々画力のいたらなさに四苦八苦しております。
描いている最中は可愛いと思うのに、、後から見返すとなんだこれ
となる
日々を繰り返す。。。。

という事で今回は処女作である「巨乳巫女にまんこ使わせてもらおう話」の
リメイクのようなモノを作ってみました。

流石に画力、脚本共に良いモノにはなっていると思いますが
まだまだ理想には遠く及ばず、、、

これからも幻想郷の魅力的なキャラクター達に支えられながら日々精進
してまいります。

次回作もご期待ください!!